

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
1	またあした 手をふるかげや 美しき空	友達と遊んで、手を振る時に影が長くて夕日が美しく感じたことを川柳にしました。
2	ほほえみは みんなを助ける おまじない	この作文を見てみんなが笑ってくれるといいなと思い、この五七五を書きました。
3	鬼が来た 必死に逃げた 鬼ごっこ	友達と鬼ごっこをしてみんなで必死に逃げて楽しかった。
4	かんごしさん じいじのリハビリ ありがとう	一人一人の思いやりで救われる人がいるんだと思いました。
5	おねがいね たくさんの人 たすけてね	いろいろな人のできないことを助けて欲しいという思い。
6	ありがとう その一言で 笑顔咲く	友達に困っていて助けたら「ありがとう」と言ってくれて、とても嬉しかったから。
7	だいじょうぶ その一言で 救われる	父が福祉の仕事に勤めていて、すごく大変そうにしています。でもその分ものすごく大変にしている人たちを助けている父をイメージして、この川柳を作りました。
8	友達と たくさん遊んだ ありがとう	友達への感謝の気持ちです。
9	福祉はね ふだんからある 思いやり	福祉は、ふだんから見えない所にあるので人々が助けあいだと思うので書きました。
10	「ありがとう」 たったそれだけ 笑顔さく	ちょっとした「ありがとう」という一言だけでもみんなの笑顔に繋がるという作品です。「ありがとう」があふれるような世の中になってほしいです。
11	夏休み みんなでプール 楽しみだ	夏休みに、いごと家族でプールに行くのが楽しみ。
12	夏休み 旅行へ行って 思い出だ	夏休みに家族と旅行へ行くときの思い出がたくさんあるから。
13	思いやりで あふれてほしい 世の中だ	優しくされたり、嫌なことされたりの日々なので思いやりあふれる人が増えて欲しいと思って書きました。
14	幸せと 思える暮らし 大切に	人生いつ今と変わるかわからないから、今が幸せと気づいて1日1日を悔いなく楽しい生活を送ってほしい。
15	夜ご飯 ^{かあ} 母さん作る ハンバーグ	いつも母さんが美味しいハンバーグを作ってくれる、嬉しさ。
16	ありがとう それはうれしい 合言葉	「ありがとう」と言われると嬉しくなります。なので「ありがとう」は嬉しくなる「合言葉」と思い、この作品を作りました。
17	ありがとう その一言が うれしいな	ありがとうという言葉だけでも嬉しい気持ちになれる。
18	おこづかい 推しに貢いで 金欠だ	アニメイトに行って推し（初兎）に貢いだら1か月分のおこづかいがとけた、という話です。
19	おこづかい シャーペンを買い なくなった	ー
20	サッカーで しあいにかけて くやしいな	サッカーの試合で負けて悔しいから書きました。
21	友達と 仲が良すぎて 楽しいな	友達とすごく仲が良くて毎日すごい楽しいのでこの川柳を書きました。
22	転んだら 心配してくれ ありがとう	毎回、転んだら心配してくれる人がいるから、これにした。
23	明日変わる 小さな行動 笑顔の種	私が困っている人に声を掛けるだけでも少し笑顔になれるような気持ちで、明日も笑顔になれることを書きました。
24	思いやり 感謝の先に 笑顔ある	思いやりや感謝をすると、どちらとも気分が良くなります、それを笑顔と表しました。そしてこの川柳を見てたくさんの人がこの気持ちを実感して欲しいと思いました。
25	うれしいな きんじょの人の あいさつだ	朝、学校に行くときに近所のおばあちゃんが「いってらっしゃい」と言ってくれる時。
26	かんごしに ただありがとう これからも	僕は時々介護しているを見かけたことがあります。赤の他人でも住んでる世界は同じ。それを助けている看護師さんにありがとうと伝えたかった。
27	人助け みんなのために がんばるぞ	人助け、みんなのために、おじいちゃんおばあちゃん、みんなの為に頑張るという思い。
28	だいじょうぶ あなたの言葉 すてきです	不安でいっぱい「大丈夫？」の声も相手にとっては、とても温かく素敵な言葉なんだなと思いました。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
29	帰る時 あいさつかえし 温かい	学校から帰る時挨拶されて返したら気持ちが温くなる。
30	おばあちゃん 楽しいことを ありがとう	僕が学校から帰って来た時に、お腹がすいた時に唐揚げや美味しい物を食べさせてくれて、いつもニコニコしていることが僕にとって楽しい時間だから。
31	お年寄り こまったときは 助け合い	困っていた時に親切なおばあちゃんが「どうしたの」と声をかけてくれ、今度は私が助けるとき。
32	ご近所の おばちゃんたちに こんにちは	近所のおばあちゃんやおじいちゃんとすれ違う時に笑顔でこんにちはと言ってくれる。
33	友達に たった一言 ありがとう	友達から助けられたことを思い出し、その時に思ったことを俳句に表しました。
34	人助け おたがい気持ち 明るくなる	人助けをするとお互いの心が明るくなることを書いた。お互い嬉しい気持ちになるから他の人も人助けをたくさんして、この社会を明るくして欲しい。
35	近所の人 いつもあいさつ ありがとう	近所の若い人おじいさんおばあさん問わずたくさんの人が登下校中におはよう・こんにちは・いってらっしゃい・おかえりと言ってもらって嬉しいと思いました。
36	声かけて お年寄りたちの お手伝い	困っているお年寄りたちに声を掛けて手伝っているときにお年寄りに感謝されている時の自分の気持ち
37	ともだちと なにげない会話 わらい声	友達となにげない笑い声を面白かった感じに書きました。
38	いっばずつ 未来のかいだん ふみだそう	ゆっくりでもいいから未来に向けて頑張ろうという意味を込めました。
39	ありがとう 少しの勇気で 笑顔咲く	困っている人に勇気を振り絞って一言声を掛けたら助けた側も助けられた側も心が晴れて笑い合えるという意味で書きました。
40	手伝うよ その重たいにもつ わたしがね	前に1人で帰っているときに困っていたおばあちゃんがいて、そのおばあちゃんの家近くまでお母さんとおばあちゃんの荷物を持って行ったから。
41	大丈夫 その気遣いで 元気出る	怪我をした時に大丈夫と声を掛けてくれるだけで少し元気が出る。
42	ありがとう わにいてくれて ありがとう	僕が友達関係で悩んでいた時にずっと声を掛けてくれてありがとうという思いを伝えたいという思いからこの川柳を書きました。
43	「ありがとう」 その一言で がんばれる	お手伝いをした時に「ありがとう」と言われて、もっとお手伝いを頑張ろうと思った時の事を書きました。
44	人助け 心温まる ありがとう	人の事を助けてありがとうと言われると心が温まり自然と嬉しく感じたことがあったから。
45	ひいばあちゃんと 面談できて 一安心	私のひいばあちゃんはデイスサービスで過ごしており、ずっと会えていなかったけど面談できて、ひいばあちゃん元気で良かったなと思い一安心という思いを込めて書きました。
46	ゆめ だ あした む ふくし 夢を抱き 明日へ向かう 福祉かな	どんな事があっても前を向いて自分で決めた夢を抱きかかえて、どんなときも何があっても、明日へ勇気づけて向かい、福祉ってどんな時も助けあっていけるし、福祉は大切なことだから。
47	ありがとう 君の言葉で かわれるよ	ありがとうの一言で、自分が、自分のことにありがとうとっていて、そのことばで「あっきみのためになれたんだ」とおもってまたやろうという思いになることです。
48	助け合い すごくいいこと 大切に	いつも、友だちがたすけてくれたり自分が助けたりするからその気持ちを川柳にしてみました。
49	「おはよう」と 元気なあいさつ ありがとう	朝、登校する時に近所の方におはようと言ってもらって朝から気持ちがボカボカして、うれしかったからです。
50	ともだちに 助け差しだし ありがとう	ともだちに困っている時に、助けてもらったり助けたりした時の気持ちを五・七・五に表しました。この作品を通し、助け合いの大切さを分かってほしいです。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
51	「こんにちは」 みんなであいさつ キラキラだ	近所の人や友達に「こんにちは」と言うと周りがキラキラしたような感じになって気持ちになるから、それを書きました。
52	助け合い しげんに手が出 みな笑顔	転んでしまった方がいて声をかけようと思っていたら、もう体が先に動いていて、みんな笑顔になっていたから次からはすぐに助け合って良い環境にしたいです。
53	助けあい みんな仲よし うれしいな	助けてもらった時や助けた時に仲良く出来ることが嬉しい時の気持ちを書きました。
54	だれとでも 手をさしのべあう その気持ち	誰にでも知らない人でも差別せず手を差し伸べるのは大事な気持ちだということを伝えたいという思いで書きました。
55	「ありがとう」 なんなんだろう この気持ち	ありがとうと言われた時に、すっきりとしたようなホカホカした気持ちになったので上の俳句にしました。ありがとうという言葉は魔法の言葉だなあと感じました。
56	あの子変 そんなところも こせいだよ	普通の子も障害の子もみんな違っていいのに「変」その言葉で人は傷ついてしまうけれど「それも個性」そんな言葉で傷つかなくなるといいなと思いました。
57	おばあちゃん 笑っていてね 元気でね	なかなか会えない、おばあちゃんのことを思って作品を書きました。おばあちゃんにはいつでも元気でいてもらいたいです。
58	困ってる 手をさしのべて 助け合う	困っている人は手を差し伸べないと例えば助けないで重症を負ったりした後に後悔するかもしれないし助け合う事が何よりも大切だから。
59	バスの中 せきをゆずろう しんせつに	バスの中で妊婦さんやお年寄りの方障害のある人に優先的に席を譲ろうという思いを込めて作りました。
60	友だちと みんな楽しく あそぼうよ	友だちが誘ってくれて、そこから仲良くなって休み時間とか一緒に遊ぶようになってその友達とみんなで遊んだのが楽しくて、それが心に残ったから。
61	お友達 手をかしてくれて ありがとう	自分が転んだ時、友達が手を差し伸べてくれたり声を掛けてくれた心がとっても安心してまた遊べたからです。
62	友達が ケガしていたら 助けよう	自分の友達がケガしていたら助けるという意味です。あと親友や大人の人にもどんな人でも助けるという気持ちがある作品です。自分がケガしたら助けてくれたからです。
63	助け合う みんなのいい気持ち ふやそうよ	助け合ったら自分もみんなもいい気持ちになるから、いい気持ちを増やしたいと思ったからです。
64	助け合い 協力をして 生きような	この作品は助け合い協力して頑張って生きようという事とみんなで協力すれば安心して今を生きていられるという思いを込めています。
65	友達の たすける心は あたたかい	困ったときに友達が助けてくれて、とても私の心があたたかくなった。助けてくれた友達の心の温かさを感じた。
66	助けよう こまっていたら 助け合う	困っている人を見て見ぬふりはダメだから、これを見て気持ちを変えて欲しいという思いを込めました。
67	こまる人 静かな心 光り出す	自分の事だけでなく人の手助けや協力を表現して書きました。あと、自分だけでなく他の人にもこの気持ちを分かってもらったらいいと思いこの作品にしました。
68	ひとことが だれかの心 あたたかく	優しい声かけで人を笑顔に
69	助け合い 嬉しい気持ち いい気持ち	友達や知らない人でも、助けたり、助けてもらったりしたら助けた人も助けられた人もみんな嬉しい気持ちか、いい気持ちになるから助けたりすることを大切にしたい。
70	助け合い みんなの笑顔 ありがとう	助け合いの気持ち。
71	家族旅行 楽しかったな 夏の日々	前に家族旅行をしてそれを思い出し書きました。すごく思い出深かった家族旅行でした。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
72	ありがとう そのひとことで すくわれる	自分が人に親切にした時「ありがとう」という言葉が返ってきた時に心が温かくなり、こちら も救われた様な気持ちになる。
73	ありがとう 言葉一つで みな平和	
74	手をつなぎ 心のバトンを 次世代に	今の時代は自分さえ良いという人が多いので優しさや思いやりが大切だと思う。
75	ともだちが たすけてくれる なかよしだ	助けてくれるのが友達で仲良しだから友達は重要。
76	友だちに いいかったよ ありがとう	いつもいつも友達に助けられてて、でもその友達が忙しくていつも言えないからという思いで この俳句を作りました。
77	おじいちゃん ご飯作るの ありがたい	おじいちゃんは今までご飯を作る事がなかったそうです。今年76歳なのですが初めてご飯を 作ってくれました。とても美味しくて嬉しく思いました。
78	こまってる 助けてくれて ありがとう	僕が友達と喧嘩をしたり一人で困っている時にお友達が助けてくれました。その時友達が優し いと思い、ありがとうと伝えたい気持ちを書きました。
79	大丈夫？ その言葉だけで 大丈夫	私は、よく転んだ時などに優しく「大丈夫？」と聞かれるのが嬉しいです。皆にもこの嬉しさ を分かってほしいと思いながら書きました。
80	こまってる 人見つけたら 声かけよう	当たり前のことだけど、なかなか勇気が出ないから心掛けてみようと思った。
81	「友達になろう！」 との一言で 人生が変わる事	1年生の時ゆいさんが「友達になろう！」という一言で人生が大きく変わったと思います。な ぜなら1年生の時友達ができるか不安だったので、とても嬉しかったからです。
82	ご近所さん 毎日笑顔で ありがとう	毎日、朝や学校から帰って来た時に挨拶を笑顔でしてくれて心がぽかぽかになる思いからこの 五七五を考えました。
83	料理の手伝い むずかしいけど 楽しくて	僕は初めて料理をした時すごく大変だなと思いました。「難しい」というのは野菜を細切する ということです。ママはこんなに大変なことをしてるんだなと思いました。
84	たすけあい みんなでつくる あかいはね	世界で困ってる人に助けることを思い、みんなが付いているあの赤い羽根の意味は助けること でみんなの助ける心が広くなると思う。
85	試合後に みんなでやった ごみ拾い	サッカーの試合で負けて悔しいから書きました。スタジアムを使った後次に使う人が気持ちよ く使えるようにすることが大切だと思う。
86	小さな手 つながっていく 明日の希望	小さな優しさが、また他の誰かに繋がっていくことで誰かの明日の希望へ繋がっていくと思 いました。
87	お友だち なかよくしよう みんなでね	誰かだけ仲間外れにするのではなく、みんなと仲良く遊ぼうという思い。
88	ごみひろい ごみひろって 町がきれい	ゴミ拾いの時にゴミをいっぱい拾って町をきれいに出来たらいいなと思いました。
89	おともだち いればいるほど たのしいな	友達がいなくて楽しくなくても友達をいっぱい作れたらもっと楽しくなる。
90	友だちは いつもなかよし うれしいな	いつも友達と仲良くしてて、とても嬉しいから。
91	また来てね その一言が あたたかい	隣りのおじいちゃんの家に行った時また来るんだと言われてとても温かく感じて、とても嬉 しかったしおじいちゃんがまた私に来て欲しいという気持ちが伝わった。
92	うれしいな けしごむかりた ありがとう	消しゴムを忘れた時に友達に借りて嬉しかった。
93	おもいやり だいじにするよ ありがとう	みんなが優しくなると思ったからです。
94	おばあちゃん 命のバトン ありがとう	ひいおばあちゃんのお葬式に行ってきたたくさんの親戚が集まりました。その人たちに会って、こ んなにたくさんの人達がいるんだなと思い、この作品を作りました。
95	えがおのわ 助け合いって すばらしい	助け合う人が増えて欲しいという思い。
96	ともだちと みんなでやるよ たすけあい	友達みんなで助け合いして平和な国にしたいという思いです。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
97	おいしいね おばあちゃんの しおむすび	おばあちゃん家に行くといつも塩むすびを用意してくれます。それがとても美味しいです。「また今度、食べたいな」と思いながら書きました。
98	おじいさん あさの見守り ありがとう	登校中に毎朝、見守り運動をしてくれる近所のおじいさんがいます。おはようと声を掛けてくれて嬉しかったので書きました。
99	ゆずり合う 電車のせきを 親切に	みんなに親切になってほしい。
100	ひいばあば らいねんもしよう せいくらべ	私のひいばあばは103歳です。ひいばあばの背を追いつくまで長生きして欲しいです。
101	お母さん いつもいろいろ ありがとう	「洗濯とかご飯の支度をしてくれてありがとう。」という気持ちで書きました。
102	うれしいな 近所の人たち 元気だな	毎日、近所の人たちが元気にあいさつをしてくれて嬉しいということ。
103	またこんど さびしいけど またあえる	友達と別れる時の気持ちです。でも、また明日という気持ちです。たった1日だけでも楽しかったから寂しいという気持ちです。手を振ったり別れを言ったり明日が楽しみです。
104	月曜日 今日も元気に がんばろう	1週間のはじめだから最初の日を頑張らないと1週間やっていけないし、月・火・水・木・金あるうち元気出さないと病気になりやすくなって疲れて学校に行けなくなって心配する。
105	ぼくのパパ いつもママに おこられる	我が家の日常です。怒りすぎてママの顔が赤くなるしアーロン（パパ）も顔が赤くなるし僕も悲しくなる。
106	手伝って 親（はは）にほめられうれしいな	母が風邪を引いた時、料理を手伝って母に褒められて、帰ってきた父にも褒められて顔を赤らめて嬉しか気持ちが顔に出るほど嬉しかった時のことについて書きました。
107	三人で キャンプでたのしい 思いでだ	家族三人でキャンプに行きました。そこではお母さんとお姉ちゃんとお肉を食べました。美味しくて家族で楽しい時間を過ごせて素敵な思い出になりました。
108	またあした おわかれの時 かなしいな	友達と家を離れる時がきてお別れでいつも一緒にいたのに離れ離れになっちゃっていつ会えるかわからない悲しくてまよって早く会いたくてたくさん泣く。
109	友達は けんかするほど 仲が良い	友達は喧嘩しても関係が壊れなく、お互いを信頼し合っているから友達仲直りをするのでお互いの気持ちがわかり、もっと仲良くできるという思い。
110	ありがとう そのひとことがうれしいな	何かをしてありがとう、その一言だけが嬉しい、またやりたくなる。頑張れる、楽しく感じる、自信がつくなど色々な思いがこもった作品です。
111	おはようと 今日の始まり がんばるぞ	朝、降りてくるとママが元気な声でおはようと言ってくれるから今日も頑張ろうと思う。ママがおはようと言ってくれると朝眠い時も元気がよくなったり嬉しい気持ちになる。
112	家族はね 縁は切れない 決してね	家族は憎んでも喧嘩しても決して大事な大事な家族の縁は切れないことを表す。また家族の縁が死ぬまで一生きれないように家族の事、もっと大事にというのを込めた作品です。
113	たんぼぼが 白くなったね 空の上	たんぼぼは花茎をのぼし黄色い花を咲かせ受粉を経て種子を形成し種子は綿毛をまとい風に乗って空に上がる情景です。
114	兄弟の けんかの日々が 強くなる	兄弟のいつもの喧嘩が強くなって嫌だし暴力で嫌で嫌で、うるさいし近所迷惑で見てらんないし、いつまでたっても終わらないケンカが嫌だ。
115	あいさつが 人をつなぐ きっかけに	今朝、自分から挨拶をすることが出来ました。とても気持ちが良かったです。これが児童会で取り組んでいる良さだと思います。
116	朝ご飯 もぐもぐ食べて おいしいな	たまに自分一人で朝ご飯を作る時があって、それを自分で食べてその味が美味しかったのと食べ終わったときの「ごちそうさま」と言うのが嬉しいし好きだからです。
117	ありがとう 友達の声うれしいな	友達が体調悪い時とかに、すぐに声を掛けてあげたことで保健室に連れていけて体調がよくなってありがとうって言ってもらえた時はうれしかったです。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
118	たすけ合い みんななかよく くらそうよ	助け合いは、みんなで助け合いをするという意味。みんな仲良くは、みんな仲良くしようという意味、暮らそうよはみんな一緒に暮らそうよという意味がある。
119	バレーボール みんなでつなぐ 心とボール	僕はバレーボールスポーツ少年団に通っています。ボールを友達と繋ぐと優しくパスしなきゃという気持ちになって心が繋がってると思ったから。
120	ありがとう 心ホッコリ その言葉	ママが忙しい時に、いつもは洗濯機の横に置いてるけど中に入れたら「ありがとう」と言われて、とっても心が温かくてこれを書きました。
121	助け合い みんなの気持ち 一つにね	1人の力ではできないこともみんなが力を合わせればできないことはない。諦めてしまえばできたことだってできないから、みんなの気持ちを一つにしたら必ず出来る。
122	お母さん いつも大事に ありがとう	母がいつも私の事を大事にしてくれているのですが日常生活の中では伝えにくいので、その思いを川柳に込めました。
123	うれしいな ボールをけったら 友達だ	スポ少を通じてできた友達を思って書きました。
124	広げよう ぼくと私の 思いやり	世の中には思いやりのない人がたくさんいるから、思いやりのある人が増えて欲しいと思ったから。思いやりのある人が増えたら、みんなニコニコ笑顔で暮らせると思ったから。
125	自分の場 安心できる パパとママ	友達と喧嘩したりした時に話を聞ってくれるパパとママが大好きで安心するからこの作品にしました。
126	ばあちゃんの とおい耳の かわりぼく	おばあちゃんの耳が聞こえにくいので、代わりに僕が聞いて伝えてあげています。みんな何で聞こえないのと言うけれど僕はおばあちゃんをいつまでも助けてあげたいです。
127	ありがとう 感しゃの言葉 あたたかい	人にありがとうと言われるとみんな心の中がぽかぽか温かくなって、みんな嬉しい気持ちになって助けたり手伝ったりしてよかったなと思うからです。
128	足のけが 助けてもらい ありがとう	4月に自転車で怪我をしてしまいました。その時にたくさんの友達が僕の事を助けてくれました。友達の優しい気持ちを知りました。
129	ともだちは こころづよいし やさしいな	友達は素敵な仲間で、そんな心強さや優しさを尊敬できる。そんな仲間の存在の意味を表した文章。
130	かんごしさん ばあばのおせわ ありがとう	僕のひいばあちゃんは入院していました。4月の終わりに亡くなりましたが、看護師さんがたくさんお世話をしてくれました。
131	いつまでも なかよくしよう みんなたち	みんなでいつまでも仲良く世界を守っていきたいという気持ちで、この福祉を考えました。僕は他人でも仲良く付き添ってほしいと思いました。
132	だいじょうぶ？ その一言で すくわれる	僕が困ったときに友達が「大丈夫？」と言ってくれたことが嬉しくて心が救われました。その気持ちをそのまま川柳にしました。
133	よくばるな 皆でゆずろう おゆずり会	私には2才の妹がいます。1年に2回使い終わった子供服を必要とする人に譲るイベントがお譲り会です。いつも使いきれない量の服やおもちゃを持っていく人がいます。
134	妹の かわいいえがお 守りたい	いつも、いつも可愛くて仕方がない妹の笑顔が見たいと思ったからです。
135	こまってる ヘルプマーク 声かけよう	東京の満員電車に乗った時に困っている人がいて、その人のカバンにヘルプマークがついていて少しでも力になろうと思い声をかけました。みんなも声掛けようと思った。
136	ありがとう その一言で あたたかい	ありがとうと言われると言われた方も嬉しくなるから、言葉にしてしっかり伝えることが大切だといつも思っています。
137	おばあちゃん 重たい物は むりしちよし	おばあちゃんが寝ている妹を抱っこして車を乗り降りしたり階段を上る姿を見て重そうにしていたので助けているところ書きました。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
138	つるを折り みんなのねがい かなうかな	おじいちゃんとおばあちゃんが長生きするように鶴を折りました。鶴を折ると優しい気持ちになります。私が優しくしてあげることで優しさが広がればいいと思います。
139	助けあい まわりにひろがる 「ありがとう」	助け合って「ありがとう」が周りに広がれば世界が明るくなると思う。どんな人にも勇気をもって声をかけられる人になりたい。
140	ありがとう それがわたしの ごほうびだ	私はたくさんのお手伝いをすることが好きです。おばあちゃんの家へ行ったときにお手伝いをして、おばあちゃんにありがとうと言ってもらえたことが1番嬉しかった。
141	助け合い みんなの命 守るため	この作品の最初の5文字の助け合いは、みんなが体の悪い人を助けることを表していて、7文字目の最後の5文字は書いた通り、みんなの命を守ることです。
142	おじいちゃん 毎日えがお 美しい	毎日おじいちゃんとトランプをしてる時、勝っても負けても笑顔でその笑顔を見ていると、とても美しかったので思いつきました。
143	家のカギ 届けてくれて マジ感しゃ	いつも持ち歩いていた家のカギを失くしてしまって、どこを探しても見つからなくて困って交番へ行きました。その時知らないお兄さんが拾って届けてくれたのです。
144	元気かな もう暑続き 祖父思う	離れた所で暮らしているおじいちゃんがエアコンや水分補給しているか心配で連絡している時の気持ちを表しました。
145	こうれいしゃ どうぞとゆずる クロスシート	電車に乗った時、高齢者が立っていて大変そうにみえたから。
146	ばんぱくの 点字ブロック すごいなあ	私は大阪万博の点字ブロックの写真を見てQRコードがついていて、すごいと思ったので書きました。
147	大切な おばあちゃんとの 思い出よ	家が遠く忙しいので、あまり会えなく少ししか遊べてないけれど夏休み中たくさん遊んでくれました。これからもたくさん遊んでね。
148	大じょうぶ？ あなたの気持ち 分かってる	あなたの気持ちをみんな分かってくれてるから落ち込まないでほしいし「大丈夫」といってくれる人がいるから大丈夫だよという思い。
149	「大丈夫」 この一言で 安心だ	障害者が道で困っていた時などに、他の人が「大丈夫」の一言を言って障害者の人が安心してホッとしていられるようにという思いです。
150	ありがとう こまっていたら またよんで	ありがとうと言われたけれど、いえいえと気を使って困っていたら、また呼んでください。と優先してくれる人の優しさをこれに書きました。
151	洗濯干し 手伝う私に ママえがお	洗濯物を干すと、お母さんがとても喜んでくれました。家での手伝いも福祉だと思いました。
152	だいじょうぶ その声かけが うれしいな	痛くした時に本当は痛いけど大丈夫？と言われると少し気持ちが安心する。
153	なかなかおり 「ごめんね」ひとこと えがおさく	兄弟喧嘩をしても「ごめんね」の一言で心が通じ合い笑顔が戻ります。いつも傍にいてくれる家族の大切さ優しさを表しました。
154	何時だろう 人を初めて 見捨てた日々は	人は誰かの為に生きるのが美德ですが、時に見捨ててしまうことがあります。それを度々思い出してみるのも自分を成長させるために必要だと思います。
155	しょうがいはい きょう力すれば こわくない	障害になっても協力すれば何も怖くない。なんでかって心配してくれる人がいるから。
156	しょうがいしゃ サポートするよ あんげんに	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
157	わたしはね ふくしについて まなんだよ	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
158	めかくしし なにもみえずに あるいたよ	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
159	しょうがい者 何がおきても 助けるよ	障害者だから気を使ってあげたいし助けて欲しい人がいるかもしれない大変な人もいるかもしれないから。
160	しょうがいしゃ ふくしたいけん むずかしい	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
161	あったかい 心を持ったら 笑顔咲く	みんなが毎日あったかい気持ちを持って過ごすことでみんながみんなが笑顔になってほしいと思いから、この作品を作りました。
162	たいせつに そだててくれて ありがとう	おばあちゃんに向けて書きました。私の自慢のおばあちゃんです。いつも、ありがとう。
163	助け合い そこから広げ 思いやり	周りの人との助け合いから思いやりを広げることで、みんなの心温まるといいなと思い、この作品を考えました。
164	大丈夫 そのひとことで すくわれる	私は「大丈夫」という言葉が大好きです。その6文字で心がふっと軽くなり人の心を救ってくれます。「大丈夫」その一言に気持ちがぎゅっと詰まっています。
165	たすけると 気持ちがいいな うれしいな	人を助けたら人が気持ちが良くて嬉しいという思いをこの作品に書きました。皆も人を助けたら気持ちがいいから、このことを大事にしました。
166	助け合う みんなの言葉 つながるね	家族や友達、世界の人が言葉を掛け合って助け合うことを意味しています。そして、みんなの助け合いの言葉がつながるという思いを込めました。
167	思いやり 他の人との 助け合い	困っている人とみんなが助け合うことで、みんな心が温かくなり、この世が気持ちを良くいい世界になるようにたすけあっていくという思いで書きました。
168	友達は たすけてくれる すてきな	困っている時に友達が助けてくれたことが、ありがたくて素敵なことかと思ったから、この作品を作りました。
169	助け合い 手を取り合って 始めよう	困っている人にさりげなく助けたいという優しい気持ちをみんなが持ち、手を取り合いみんなの力で始めたいという思いで考えました。
170	つなげよう ぼくらこどもの おもいやり	僕たち子どもの思いやりを繋げることで、世界が平和になり優しい人でいっぱいになり助け合えるようにしたい。
171	家族はね あなたのそばに いてくれる	家族は私達やみんなのお母さん・お父さんか私達の傍にいてくれるからこの作品を作りました。
172	ボランティア こころぽかぽか 気持ちいい	お手伝いや助けてもらった時に気持ちがいいことや、助けられた時に心がぽかぽかして嬉しくなる気持ちを込めて書きました。
173	手伝うと なんだか心 幸せに	人を手伝うと助けられた人も嬉しいけど手伝った人も嬉しくて幸せで良い気持ちになり、その人も幸せに巻き込まれるということを込めました。
174	友達は 心つながり すてきな	友達やまわりのみんなは心が繋がっていて、友達と心が繋がっていて、友達と心繋がっているのは素敵なことだなという思いから作りました。
175	助け合い 気持ちがいいね 手をそえて	困っている人に、さっと手を添えて助け合えることを皆ができるようにしてほしいという思いで作りました。
176	はくじょうで サポート大事 必要だ	白杖は目が見えない人の大切なものであり、サポートするためにとても大切なものだなと思ったから、この作品を作りました。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
177	階だんで こまっていたら たすけよう	もしも階段で困っている人が居た時には助ける、のように良いことをやっていきたいという思いを込めました。
178	困る人 自分の手から 助けよう	助け合いや思いやりの気持ちを大切に、困っている人を助け合うことを当たり前にし思いやりが広がりが心が温まればいいなと思い作りました。
179	ありがとう こころぽかぽか うれしいな	僕は、ありがとうという言葉が掛けられると心がぽかぽかになり嬉しくなります。そんな気持ちをこの作品に込めました。
180	ボランティア 毎日旗振り ありがとう	私たちの登校班は兄弟が多いのでお母さん達が少ないです。近所の人たちがボランティアで旗振りをしてくれます。その人たちに感謝を込めて書きました。
181	てんのもじ ゆびでさわって よみとこう	僕は福祉の勉強で目の不自由な人は点字で本を読むと知りました。僕は読めないのですが、すごいなと思いました。
182	目かくしし あるいたがっこう さいあくだ	目隠しをして歩いた学校は、すごくすごい転びそうでした。
183	しょうがいはい あってもなくても 友達だ	視覚障害者、視覚障害の障害があっても仲間だよ。僕は色々な障害の体験して人の気持ちが分かった。
184	イヤーマフ つけたらなにも 聞こえない	総合の時間に福祉体験をした、その時は何もみんなの声も聞こえなくて手話を覚えていなかったのが障害の人の気持ちが分かりました。
185	人間は みんなちがって あたりまえ	障害者だって障害が無い人だって、みんな違っている。人間ということは、みんな違って当たり前でそれは僕たちの共通点ということ。
186	はくじょうで たすけてもらって あるいたよ	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
187	声かけて みんなでまもる たのしいまいにち	総合の学習で福祉について学びました。福祉の体験で白杖を使いました。アイマスクも使いました。手話や点字についても勉強しました。
188	はくじょうを つかってふくし こわかった	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
189	しょうがいしゃでも みんななかま なかよしだ	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
190	しょうがいがい あってもみんな 心ある	もしどんな障害があったとしてもみんな色々な感情があるということを伝えなかったからです。理由は障害の人も頑張っている心があったからです。
191	しょうがい者 わらえば気持ち 伝わるよ	障害者は話することが出来ない人もいるけど笑っていれば相手も気持ちが伝わるし相手も笑い返して相手の気持ちも話せなくても伝わることを表しました。
192	なんだいも 手を取りあって のりこえる	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
193	おばあちゃん にんちしょうなったら たすけるぞ	総合の学習で福祉について学びました。福祉体験で白杖を使ったアイマスクやイヤーマフを使ったり手話と点字に挑戦したりしました。
194	だいじょうぶ？ その一言で すくわれる	困っている時に「大丈夫？」と言われて、ちょっと安心する気持ちがあるから自分も誰かが困っていたら声をかけてあげたいなと思って書きました。
195	大丈夫？ その一言が 大事だよ	障害のある人は不安で困っていると思うから自分から声をかけてあげると障害のある人も安心して過ごせると思いました。
196	大丈夫 と言ってくれて ありがとう	大丈夫と呼び掛けてくれて心配されると嬉しくなり、ありがとうと思うから。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
197	助け合い みんなで助け のりこえよう	みんなでやれば、どんなことも乗り越えられるというそんな思いを込めて書きました。
198	助け合い 障がい者でも 一緒にね	障害者でも障害が無い人でも一緒に地球に住む人には変わらないから一緒に助け合うことから、こう書きました。
199	たすけあい みんなの協力 うれしいな	僕は障害の人は大変だと思って協力で乗り越えようと思ったので考えました。
200	助け合う みんながいれば 安心だ	障害のある人をみんなで助け合いをしあい障害のある人をより安心にさせれるようにケガもなくという障害のある人が安心してほしいという思いです。
201	思いやり 障害の人 助けよう	障害の人が困っていたら見て見ぬふりはしないで声を掛けてみんなで助け合いをすればいいと思いました。
202	一声が 心を変える きっかけだ	ずっと付き添うことはできないから少し通りかかった時に一声かけるだけでも少し心を変えるきっかけになるのかなと思いました。
203	ありがとう たすけてくれて うれしいな	障害の人は前が見える人がサポートしなければどこにいるか分からないから、ありがとう、助けてくれて、嬉しいなにしました。
204	助け合い 共に生きるが 大切だ	人間は一人で生きていけなく、みんなで共に生きていてみんなで助け合っていくことを思っ書きました。
205	思いやり みんなやさしく 助け合い	困っている人を見たら、自分からみんなに優しく助けたり思いやってほしいから。
206	思いやり そこからはじまる 第一歩	思いやりや助け合いをすれば困っている人をどんどん助け合えて助けてもらった人は次困っている人を助けて、そういう風にすれば思いやりは受け継がれていくのかなと思いました。
207	親切は 心に響く 宝物	親切をすると、その人には行動が宝物となるかもしれません。だから親切をすると心に響き、その親切がやられた人の宝物になればいいと思って書きました。
208	助け合い みんなでやれば ほかほかだ	クラス全員で助け合いをすると気持ちがほかほかになってクラス全体が優しい感じになって、クラス全体が優しい感じになって、みんなも嬉しくなるからです。
209	障がいは 助け合いで 乗り越える	どんな人でも、みんなで助け合えばどんな難関も乗り越えられる。そういう思いで作りました。
210	ありがとうって 伝えてくれて ありがとう	ありがとうって言われたから逆にありがとうって言ってる思い。
211	思いやり みんなでしよう 大切だ	みんなが誰にでも困っている人や障がいがある人を助けたり声掛けをしたりできることをすることが大切だと思ったからです。
212	手伝うよ 一緒にやって ありがとう	大変そうな人に手伝いましょうかと声をかけて、ありがとうと言われると嬉しくなるので、それをみんなにも伝えたかったので、この作品を作りました。
213	共生を みんなでしていき ささえあう	困っている人などと共生をしていって、みんなで支え合えば力合わり助けあげられるのかなという思いで書きました。
214	お手伝い 支えてあげる ありがとう	困っている人を支えてあげる気持ちが大切だから。
215	どうしたの そのひとことで すくわれた	どうしたのと言うその一言だけで人を救えるし助けられると思ったから。
216	大切だ 命はいつも 一つだけ	命は大切だから一人一人にたった一つずつしかないから大切にしてほしいと思って、この川柳を書きました。命を大切にしていきたいです。
217	助け合い 人を助ける いいことだ	困っている人を助ければ助けるほど良いことがあるし助ければお礼を言われるから、この作品にしました。
218	たまに会う 視覚障がい たいへんだ	たまに会う視覚障害の人が大変そうだし大変だと思ったからです。あとは視覚障害者の気持ちは知らないけど、こういう気持ちだと思いました。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
219	優しさに 私の手から はじめよう	自分から優しさ手から始めていきたいという理由から、この川柳を作りました。
220	聞こえない 優しい言葉 聞こえてる	耳が聞こえなくても友達や家族から優しい言葉は伝わっているその思いを川柳にしました。僕もそのよう人がいたら優しい言葉をかけてあげたいです。
221	助け合い みんなで守る がんばろう	みんなで助け合えるようにと、みんなで色々な人を助けるためと、みんなで助け合って頑張ろうという意味で頑張りました。
222	思いやり みんなをたすけ 平和だな	困っている人たちを助けて思いやりという作品にしました。みなさんも思いやりを持って過ごしてください。
223	命の輪 障がい者にも 仲間あり	障がい者でも命があるし持っていてなくても持っていなくても仲間外れにしないで人間同士だから助け合い仲間にする。
224	きれいだね と言ってくれて ありがとう	綺麗だねと言ってくれたら気持ちが嬉しくなるから。心が嬉しくなって毎日気持ちの良い日々になるから。優しい人だなと思うから。
225	悲しい今 微笑むあなた もう平気	目が見えなかったり耳が聞こえなかったり、そういう人もいるけど皆で微笑んで優しくしてあげれば安心できると思いました。共生ができればいいと思いました。
226	福祉とは みんな幸福 良い世界	みんなが幸せになれると平和になれるから楽しい5・7・5にしました。外国も平和になれると良いなと思ったから、この川柳にしました。
227	目は見えぬ みんなやさしい あんしんだ	目は見えないけど、みんな優しくて安心だという思い。みんな優しいよという思いで作りました。
228	助け合う みんなの花が 命にある	みんな大切な心があるから。助け合う…みんな同じ地球の仲間だから。地球のみんなは命があるから。
229	自助とは 自分で守る 行動だ	4年生以下の子供達に知ってほしくて自助、自分で守る事、行動を知ってほしくて考えました。
230	いのちとは にんげんひとつ たいせつに	子供・大人・お年寄りに人間一人一つの命を大切にしてお金では買えないし自分がもし助けられたら「命を大切にしよう」と思えることが大事。
231	たいへんな しかくしょうがい たすけあう	助け合う人、助かると思うありがとう。とても助かる視覚障害の人も優しくて素敵、みんな協力して楽しくゆきたい。
232	ありがとう 世界は変わる 思いやり	ありがとうを言うことで世界は変わって思いやりをすることで笑顔も増えると思い、この作品を作りました。
233	おじいちゃん 元気でいてね いつでもね	いつでもおじいちゃんが元気でいてほしく病氣にかからないで元気でいてほしいという思いで作りました。
234	おじいさん 早く元気に なってくれ	僕のお父さんのおじいさんが最近、元気がないからずっとずっと早く元気になってと毎日祈る日々を願って川柳を書きました。
235	夏場はね スイカにキュウリ たくさんだ	僕の住んでいる場所は夏になると、たくさんの野菜と果物がもらえます。そのことを川柳に表しました。
236	ありがとう その言葉には 感謝の矢	ありがとう。その言葉を言われた時、僕はいつも心に残ります。数ある内の言葉でも、ありがとうと言われると矢が刺さったようにぐっと来るからです。その気持ちを込めました。
237	雨の日の思い出	雨の日、おばあさんが傘をささずに歩いていた。私は自分の傘を差しだして一緒に家まで送った。おばあさんの温かい手を握られて心がぽかぽかでした。

令和7年度ふくし川柳 小中学生の部

No.	作品	作品への思い
238	サポートは 特別じゃなく あたりまえ	私にはサポートが少しだけ必要な11歳の親戚がいます。運動も勉強も手助けしないと上手くできません。特別だと思うことはなく、できなければ一緒にやればいいんだと思います。
239	救われた その手はいつか 救う手に	誰かに助けられた時、自分もその人のように誰かを助けたいと思い行動する。「恩送り」の精神こそが「福祉」に大切なものだと思いますこの句を書きました。
240	自分から 地域の人へ あいさつを	自分から地域の人への挨拶をすることは当たり前だと思い書きました。そして全ての人への感謝も必要という意味も込められています。
241	ありがとう その言葉が 笑顔をうむ	皆がありがとうの気持ちを持って、手伝うと相手が笑顔になって嬉しくて「温かい気持ちになるといいな。」と思い書きました。
242	手話ならい まほうの言葉 つながるよ	私は手話を覚え始めていて、手話を必要とする人たちと魔法の言葉手話で繋がりたいと思っています。同じように思ってくれる人が増えるといいなと願って書きました。
243	とまってね やさしくいって まもってく	見守り隊の人が優しく声をかけてくれて、いつも傍にいてくれるのが嬉しくて作りました。
244	うれしいな ごめんねよりも ありがとう	ごめんねは悲しい印象だけど、ありがとうはみんなが嬉しく笑顔になれる言葉。
245	ありがとう そのひとことで えがおさく	自分が助けられた時にありがとうと言ったら助けた人も自分も笑顔になりました。
246	おじいちゃん おいしいぶどう ありがとう	毎年おじいちゃんが作っているぶどうを、たくさんもらいます。そのぶどうがとても甘くておいしいので、これを書きました。
247	竹とんぼ 作ってくれて ありがとう	竹とんぼを作れてすごいし、自分にはできない教えて欲しいと思いました。材料もどこに売っているのかなと思いました。
248	ありがとう その一言で あたたまる	私が困っている友達を助けた時に「ありがとう。」と言われて心が温まったから、またみんなを助けてあげたいと思ったし、みんなにもその思いを伝えたいと思いました。
249	手をつなぎ ばあばと歩く いなか道	足の悪いおばあちゃんと手をつなぎ、ゆっくり話ながら歩いた思い出を書きました。おばあちゃんがとても喜んでくれたので僕も嬉しくなりました。
250	思いやり みんなの笑顔に つながるよ	思いやりをもって人に接すると友達も家族も、みんなが笑顔になり私も楽しい気持ちで笑顔になるからです。
251	祖母出来ぬ スマホ設定 手助けを	僕のおばあちゃんが、よくスマホ設定について聞いてくるので、この出来事をテーマにして、この川柳を書きました。
252	お年寄り 心をこめて 支えよう	お年寄りでも気持ちを込めて支えたい
253	助け合い 協力し合い 笑顔咲く	友達と学校の皆や、地域の方がそれぞれ助け合い協力し合えば笑顔でいっぱいになると思います。